



大和特別支援だより

第 2 号 令和 7 年 3 月 2 1 日（金）発行

徐々に春の気配が色濃く感じられるようになりました。
本年度も終わりに近づき、子ども達も進級への思いが膨らんでいることと思います。来年度もご理解・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「小学部から高等部まで見通した教育をめざして」



佐賀県立大和特別支援学校長 小野 龍智

保護者の皆様、関係機関の皆様には、今年度も本校教育へのご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。おかげさまで3月11日に高等部、13日に中学部と小学部の卒業証書授与式を、24日は在校生の修了式を無事終えることができました。

今年度、本校では大きな行事や工事がありました。まず6月から校門から校舎までの通路の拡幅工事・駐車場の整備、8月には九州地区特別支援教育研究大会佐賀大会の開催、10月の国民スポーツ大会佐賀大会、11月の全国障害者スポーツ大会などが続き、12月からはグラウンドに仮校舎を建築して、今後引っ越し作業を行っていくことにしています。

通路の拡幅と駐車場の整備の工事は、スクールバスが通る合間に送迎の車が通り、また登校してきた児童生徒もその横を歩くという危ない状況を解消するためのものです。これによって歩行者の安全の確保がしやすくなり、またバスと車との離合が行いやすくなって混雑の緩和が図られたと考えています。これからも校内を通行する際には、十分スピードを落として徐行し、安全第一でお願いしたいと思います。

秋には（まだ暑かったのですが）、スポーツ大会をみんなで観戦に行きました。国スポも陸上や柔道などの競技をみんなで見に行きましたし、なかには選手として参加したり、コーチや審判などのスタッフとして参加したりする先生たちもいて、優勝するなど大活躍した先生もいました。全障スポでは開会式に運営スタッフとして参加する生徒もいて、開会式には多くの児童生徒と職員が参加しました。大きな大会に同級生と一緒に参加して雰囲気を楽しむことは、よい経験だったのではないかと思いますし、連帯感もできたのではないかと思います。

これからも普段のこつこつとした授業の積み重ねを充実させるとともに、子どもたちが感動できるような体験活動を考えていきたいと思っています。今後とも大和特別支援学校へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



小 学 部



これまでで最多の116名の児童は毎日楽しく、元気に頑張った一年となりました。

1年生は、元気いっぱいの個性豊かな2クラス16名で、にこにこ笑顔で賑やかな1年間を過ごしました。入学当初は、初めての学校生活に戸惑いながらも、混ぜて作る調理やモップ掛けなどのお仕事、いろいろな道具や材料を使った制作や楽しみにしていた大きいプールでの水遊び、マット遊びや音楽遊び、校外学習など、みんなで楽しみながら様々な経験を積み重ねていきました。初めての学習発表会では、全員が体育館のステージに上がり、たくさんのお客さんの前で、子どもたちが得意なことや大好きなダンスを披露することができました。繰り返しの活動の中で、自信もついてきて、みんなの表情が逞しくなってきました。

2年生は、音楽、図画工作、体育の学習が始まりました。季節の歌や様々な楽器に触れたり、絵の具で色の変化を楽しんだり、低鉄棒やマット運動に意欲的に挑戦したりと、新しい学習にも楽しんで取り組みました。生活単元学習の調理活動で、混ぜる活動に加え、ホットプレートで焼く、材料を切るなど、少しずつステップアップしながら取り組んだり、学習発表会でステージの上で堂々と発表したりすることができたことで、自信がもて、さらなる意欲と成長につながりました。

3年生は、学年全体での授業や活動も増え、友達との関わりが広がりました。生活単元学習では、友達と一緒に台風の日やめくってゲーム、かごめかごめ、とんとん相撲等をしたり、休み時間には、隣のクラスに

遊びに行ったり、友達を誘っての追いかけて遊びをしたりしてみんなで遊ぶ姿がよく見られたりしました。また、今年度初めて、秋の遠足でメリッタキッズに行きました。公共の場での約束を守り、自分の好きな遊びを選んで、元気に活動しました。

4年生は、生活単元学習や、音楽、体育など、学年みんなで楽しく活動しました。学習発表会に向けては、かっこよく運動する姿を見せることはもちろん、ステージでの返事や道具の作成など、コツコツ練習、コツコツ制作し、協力して発表を作り上げました。音楽では、曲に合わせてリズム打ちをしたり、友達と向かい合って手遊びに挑戦したりしました。活動を通して、自信をもったり、友達との触れ合いが増えた一年間でした。

5年生は、「みんなで協力：一人一人が自分の仕事をがんばる」を合言葉に、学習に取り組んできました。お仕事単位では、役割分担をしてみんなで協力し、紙すきをしました。そして、80冊を超えるメモ帳を完成させました。その仕事のお給料を持って、みんなでマクドナルドにランチを食べに行きました。路線バスに乗ったり、自分でハンバーガーの注文をしたり、緊張しながらもたくさんの体験をしました。やり遂げた時のみんなの笑顔は、自信に溢れていました。

6年生は、「世界にひとりだけのぼく・わたし」が、「世界に一つだけの“今”の時間」に、立ち止まることなく、一步一步前進し続けてきました。『切磋琢磨』という言葉は、互いに励まし合い、競い合って向上するということ。まさに、この言葉は、この18人のために作られたのではないかと思うほどでした。学習時間も生活時間も、休み時間さえも、思考・試行・挑戦の連続する姿を見せてくれた18人、修学旅行と学習発表会を経て、大きく成長しました。

このような学校生活の一つ一つの経験が積み重なって、子ども達は大きく成長しています。これも保護者の皆様のご協力や関係機関の皆様の支えによるものだと思います。本当にありがとうございます。これからも温かく見守ってくださいますよう、よろしくお願いいたします。



中 学 部



令和6年度、中学部は4月に1年生を迎え、106名でスタートしました。2年生の宿泊学習や3年生の修学旅行、学習発表会のステージ発表やどろんこ販売会、校外販売会など、様々な行事を実施することができました。久しぶりに佐賀市立小中一貫校松梅校中学校との学校間交流も実施することができました。

2月26日の「3年生を送る会」は、3年生の保護者も見学されて行うことができました。3年生は下級生からの心のこもったプレゼントやメッセージを感慨深い様子で受け取ったり、歌や合奏などの出し物をじっと鑑賞したりしていました。また、思い出のスライドショーを見ながら、3年間の懐かしい出来事を振り返っていました。

中学部の卒業生36名は、4月からそれぞれの道へと進みます。新しい先生方や仲間と元気に笑顔で過ごせることを願っています。2年生42名、1年生27名も4月から次の学年へと進みます。さらに成長できるように引き続き全力で指導・支援を行っていきます。

保護者の皆様には、この1年間温かく見守っていただき本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



高 等 部



令和6年度、高等部は4月に1年生を迎え、125名でスタートしました。

10月に行われた全国障害者スポーツ大会（SAGA 2024）では、選手、パフォーマー、アナウンサーとして、多くの生徒が活躍し、その仲間達を皆で応援しました。

1年生は職場見学や佐賀県について知識を深める校外学習、2年生は福岡方面への1泊2日の修学旅行、3年生は卒業後の生活を見据えた校外学習など、どの学年も校外での体験的な学習を行うことができました。

学習発表会では、多くの保護者の方々に作業学習で一生懸命に作った製品や農産物を購入していただいたり、実演を見ていただいたりして、喜びや自信につながりました。どうもありがとうございました。

3週間の前期就業体験、3週間の後期就業体験では、仕事に対する姿勢を身に付けながら任された作業に時間いっぱいしっかり取り組み、卒業後の進路先選択に向けての体験をすることができました。

一年間、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。

3年生42名は、3月11日の卒業式後、それぞれの進路に進みます。1、2年生も新学年へ進みます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。